

平成29年度事業報告書

第1 事業報告書

一般社団法人日本遊技関連事業協会（以下「日遊協」という。）は、内閣総理大臣から社団法人設立の許可を得て、平成元年7月3日に設立され、設立目的である遊技産業界の健全化、適正化、近代化及び社会的地位の向上に向けて、各種事業を積極的に推進してきた。現在は、平成20年12月1日公益法人改革3法の施行に伴い、平成26年4月1日より一般社団法人として活動している。

平成29年度は前年度に引き続き、事業計画と合せて、「重点推進事項」を掲げ、これを推進し、セキュリティ対策の検討、遊技機リサイクルの推進をはじめ、各委員会等を開催した。また、平成6年度から遊技機販売業者の登録制度、遊技機取扱主任者講習及び試験、店長等講習及び試験を実施しているが、平成16年7月1日の改正検定規則等の施行に伴い、遊技機販売業者登録制度に関する規程の一部改正、遊技機取扱主任者に関する規程及び店長等講習及び試験に関する規程を制定し、各事業の充実強化を図っている。

日遊協独自の主な事業活動としては、人材育成委員会により人材育成フォーラム、女性活躍推進フォーラム、遊技機委員会によりパチンコ・パチスロフェスティバル、広報調査委員会によりパチンコ・パチスロファンアンケート調査、広報担当者フォーラム等を行った。また、社会貢献・環境対策委員会では、埼玉県嵐山町での里山づくりを始め、東日本大震災ボランティア活動の一環として、平成25年度より林野庁が推進する「みどりのきずな再生プロジェクト」に基づく海岸防災林の再生活動へ参画しクロマツ等の植栽を継続して行っている。

さらに、業界における諸問題・課題を解決するために、風営法PT、依存問題PT、防犯対策勉強会を設置し議論を重ねている。主な事業の実施状況等は、次のとおりである。

I 総務関係

1 会員の状況

時 期	正 会 員	賛助会員	団体会員	合 計
設立時(元. 7. 3)	154	0		154
元年度(2. 3. 31)	205	6		211
2年度(3. 3. 31)	405	18		423
3年度(4. 3. 31)	570	24		594
4年度(5. 3. 31)	760	25		785
5年度(6. 3. 31)	771	28		799
6年度(7. 3. 31)	794	31		825
7年度(8. 3. 31)	760	36		796
8年度(9. 3. 31)	718	41		759
9年度(10. 3. 31)	642	41		683
10年度(11. 3. 31)	610	37		647
11年度(12. 3. 31)	598	34		632
12年度(13. 3. 31)	579	35		614
13年度(14. 3. 31)	565	33		598

14 年度(15. 3. 31)	543	27		570
15 年度(16. 3. 31)	516	33		549
16 年度(17. 3. 31)	502	32		534
17 年度(18. 3. 31)	490	31		521
18 年度(19. 3. 31)	466	32		498
19 年度(20. 3. 31)	442	33		475
20 年度(21. 3. 31)	407	32		439
21 年度(22. 3. 31)	383	39		422
22 年度(23. 3. 31)	369	44		413
23 年度(24. 3. 31)	351	54		405
24 年度(25. 3. 31)	340	66		406
25 年度(26. 3. 31)	335	73		408
26 年度(27. 3. 31)	327	79		406
27 年度(28. 3. 31)	348	78	3	426
28 年度(29. 3. 31)	343	80	5	423
29 年度(30. 3. 31)	343	83	5	426

2 役員（理事・監事）名（平成30年3月31日）

役員	氏名	役員	氏名	役員	氏名
会長	庄司 孝輝	理事	岩堀 和男	理事	日野 洋一
副会長	榎本 善紀	〃	小野 直彦	〃	平本 直樹
〃	大久保正博	〃	岸野 誠人	〃	吹浦 忠正
〃	小林 友也	〃	木原 茂成	〃	福山 裕治
〃	谷口 久徳	〃	小塚 英治	〃	美山 正広
〃	韓 裕	〃	篠原 菊紀	〃	柳 秀明
〃	樋口益次郎	〃	白石 良二	〃	山田 久雄
〃	日野 泰昌	〃	知念 安光	〃	吉村 泰彦
〃	福井 章	〃	堤 義成	監事	加藤 義久
専務理事	堀内 文隆	〃	西村 拓郎	〃	畠山 和生
常務理事	浜田 昭文	〃	東野 昌一		

3 第28回通常総会の開催状況

年月日	平成29年6月20日（火）
場所	ハイアットリージェンシー東京
出席正会員数	正会員301名（委任状提出145名を含む。）
議案	第1号議案 平成28年度事業報告書及び決算報告書の承認に関する件 第2号議案 理事報酬の件 第3号議案 役員を選任に関する件

4 理事会の開催状況

	年月日(曜)	議 題
第1回	29. 5. 18 (木)	1 新規入会会員の承認に関する件 2 平成28年度収支決算報告書(案)及び公益目的支出計画実施報告書(案)に関する件 3 平成29年度収支予算書(案)に関する件 4 理事報酬の件 5 役員の選任に関する件
第2回	29. 7. 20 (木)	1 新規入会会員の承認に関する件
第3回	29. 10. 6 (金)	1 新規入会会員の承認に関する件
第4回	29. 11. 16 (木)	1 新規入会会員の承認に関する件
第5回	29. 1. 11 (木)	1 新規入会会員の承認に関する件
第6回	30. 3. 15 (木)	1 新規入会会員の承認に関する件 2 平成30年度事業計画及び重点推進事項(案)に関する件 3 平成30年度収支予算(案)に関する件

5 臨時理事会

年 月 日	平成29年6月20日 (火)
場 所	ハイアットリージェンシー東京
議 案	会長、副会長、専務理事及び常務理事の互選について

6 専門委員会

日遊協の事業の適性かつ効果的な運営に資するため、会長から諮問を受けた事項について調査審議するため、常設の4専門委員会と必要に応じて設置されるPT(プロジェクトチーム)に再編し、シンプルな構成で責任の所在を明確にするとともに課題解決のスピードアップを図るものとした。専門委員会として広報調査、人材育成、社会貢献・環境対策、遊技機の4委員会。PTとして風営法、依存問題が開催されている。

7 貯玉補償基金

平成15年5月、北海道の(株)オーテミが倒産した際、ジャパンネットワークシステム(株)と(株)マースエンジニアリングが3店に対する補償、5店に対する緊急救済措置を講じたことにより、貯玉補償基金、自工会の貯玉保証基金及び(株)マーステクノサイエンスの貯玉補償基金の統合、基金未加入店への加入促進、ファンに対する加入店の情報公開等を図るため、経営委員会委員

長を代表とし、ジャパンネットワークシステム(株)、自工会関係社及び日遊協による貯玉保証推進会議を同年12月に発足させ、実務担当者による分科会を含めて、開催している。

平成17年12月、「新貯玉補償基金設立準備室会議」を開設し、委員に公認会計士(税理士)・弁護士の参画を求めて細部の詰めを行い、同基金の有限責任中間法人化の準備を行い、平成19年3月、法人登記を完了した(その後の法改正に伴い、平成20年12月に一般社団法人とした。)。平成20年3月末には、貯玉補償基金に自工会基金及びマースエンジニアリング基金の統合を完了した。平成22年2月9日には、(株)オーイズミがセンター事業者となった。平成30年3月末で加盟ホール数6,545店となった。(事務局ジャパンネットワークシステム株式会社)

8 その他の会議等

(1) 警察庁保安課との連絡会議

警察庁保安課の課長以下幹部と日遊協会長、副会長及び会長経験者等により「当面の諸問題について」4月及び10月に定期的に会議を開催している。

(2) 正副支部長会議

年3回定例開催し業界課題についての方針の決議等を行っている。また、緊急検討事項がある際は臨時開催している。

(3) 支部運営会議

年3回定例開催し、支部の運営状況や業界課題についての情報共有している。

(4) 支部事務所長会議

毎年4月に、本部、支部相互の意思疎通を図り、両者が一体となった活動を期すため、当面の諸問題について協議、打ち合せの会議を開催している。

(5) 記者会見

総会及び理事会終了後に、業界誌(紙)記者との会見を開き、その審議内容等について説明、質疑に応じている。このほか、一般マスコミを含めて、個別取材に随時対応している。

9 会員に対する速報等 (事務局名通知は省く)

(1) 子どもの車内放置防止対策の徹底について (H29.4.24)

(2) 子どもの車内放置防止対策の徹底について(再要請) (H29.6.2)

(3) 風営法規則等の一部改正について (H29.7.7)

(4) 車内放置防止対策 駐車場の巡回方法の徹底について (H29.7.12)

(5) 子どもの車内放置防止対策の徹底について(要請) (H29.7.26)

(6) 規則改正に伴う遊技機の取り扱いについて (H29.9.22)

(7) 自己申告プログラムおよび家族申告プログラム導入マニュアル制定のお知らせ (H29.11.30)

II 事業関係

1 教育セミナーの実施状況（敬称略）

年月日	場 所	講 師	講 演
29. 4. 13	グランドハイアット福岡	遊技通信社 伊藤実啓社長	大転換期を迎えた遊技業界の今後
29. 5. 30	ホテルレオパレス札幌	日遊協 堀内専務理事	業界の現状と日遊協の取組について
		日遊協依存問題 PT 安藤リーダー	依存問題対応で求められることと今後の業界対応について
29. 6. 2	名古屋ガーデンパレス	愛知県警察本部生活安全部 保安課 中島課長補佐	遊技業界の健全化について
29. 7. 21	日遊協本部	(株)ワークス 福士氏 他	各種セキュリティ対策の現況について
		(株)ABC 水戸課長	
		(株)SANKYO 猶井氏	不正に対する取り組みについて
29. 7. 28	福岡県遊技会館	日遊協 堀内専務理事	業界の諸問題について
		(株)コスモロム研究所 宮武宣人氏	内部不正について
		(株)スタッフコーポレーション 川野伸幸氏	置引対策について
		(株)ジューネット 井上直剛氏	ゴト対策について
		日遊協風営法 PT 茂木リーダー	規則改正と今後について 従業員教育と SNS の活用について
29. 7. 31	アイリス愛知	(株)ジューネット情報技術部 情報課 豊島次長	ゴト被害の現状と対策について
29. 9. 12	メルパル広島	広島県警察本部 佐々木補佐	遊技業の適正・健全営業について
		日遊協風営法 PT 茂木リーダー	風適法施行規則の改正とこれからのホール営業について
29. 9. 22	(株)あいあーる	宮城県警察本部生活安全企画課補佐	健全営業の推進について
		(有)ジャパンセキュリティサービス 高石社長	外部不正と内部不正の実態について
		日遊協 堀内専務理事	業界の動向について
		日遊協 浜田常務理事	日遊協の活動について
		ブリティッシュアメリカタバコジャパン 佐藤氏	グローについて
29. 10. 6	リーガロイヤルホテル大阪	日遊協遊技機委員会 内藤委員長	最近の遊技機の動向について
		日遊協近畿支部セキュリティ対策部会員	近畿支部セキュリティ対策部会近況報告
		(株)フジオフードシステム 藤尾社長	繁盛店づくりと外食産業の動向
29. 11. 24	日遊協本部	ブリティッシュアメリカタバコジャパン担当者	加熱式タバコの製品特徴と使用環境について
		NEXUS(株)内部監査室	セキュリティ対策の現状と対策について
29. 11. 24	福岡県遊技会館	ブリティッシュアメリカタバコジャパン 岩本武士氏	喫煙業界の現状について
30. 1. 15	名古屋ガーデンパレス	日遊協 大久保副会長	業界の最近の動向について
		(株)ジューネット情報技術部 情報課 豊島次長	ゴト被害の現状と対策について
		日遊協依存問題 PT 安藤リーダー	自己申告・家族申告プログラムについて
30. 1. 29	メルパルク広島	広島県警察本部 佐々木補佐	遊技機の新基準への対応等について

30. 2. 22	福岡県遊技会館	日遊協依存問題 PT 安藤リーダー	自己申告・家族申告プログラムについて
		(有)ジャパンセキュリティサービス 高石社長	JSS 不正対策セミナー2018～巧妙かつ悪質化する不正を撃退せよ

2 遊技機販売業者登録制度の実施状況

遊技機の取扱いの適正化を図るため、関係団体と協議し、平成6年5月に「販売業者登録制度に関する規程（以下「登録規程」という。）を制定し、「遊技機販売業者の登録業務」及び「遊技機取扱主任者講習及び試験」を実施してきた。

平成16年7月1日から改正検定規則等が施行されたことに伴い、遊技機取扱主任者に関する規定を登録規程から削除するとともに登録規程の一部を改正し、規程の名称も「遊技機販売業者登録に関する規程」に改めた。平成29年度は、次のとおり実施した。

(1) 登録資格審査委員会

年月日(曜)	場 所	議 題
29. 6. 1	本部 会議室	(1) 新規登録申請販売業者の審査 (2) 更新申請登録販売業者の審査
29. 8. 28	本部 会議室	(1) 新規登録申請販売業者の審査 (2) 更新申請登録販売業者の審査
30. 2. 1	本部 会議室	(1) 新規登録申請販売業者の審査 (2) 更新申請登録販売業者の審査

(2) 販売業者の登録状況（平成29年度）

	全商協	回胴遊商	日工組	日電協	その他	合 計
新 規	9	1	0	0	0	10
更 新	99	82	2	1	0	184

(3) 平成29年3月31日現在登録販売業者

団 体	全商協	回胴遊商	日工組	日電協	その他	合 計
業者数	536	305	9	8	9	867

3 遊技機取扱主任者講習及び試験の実施状況

平成16年7月1日から改正検定規則等の施行に伴い、新に「遊技機取扱主任者に関する規程」を制定し、更新時講習の時間を増やすとともに試験を実施して、その充実を図っている。

平成29年度は、平成28年4月1日から遊技機製造業者の業務委託に関する規程の施行に伴い、遊技機取扱主任者の資格を有する者は、新台の設置確認、部品交換後の点検確認を行うことが可能となったので、28年度に引き続き新規講習回数を大幅に増やして、次のとおり実施した。

(1) 新規講習及び試験の実施状況

地 区	開催日	場 所	申込者	受講者	受験者	合格者
北海道	平成 29 年 7 月 11 日(火)	札 幌	147	145	145	134
	〃 7 月 12 日(水)	〃	78	78	78	77
	〃 8 月 30 日(水)	〃	72	70	70	65
東 北	〃 4 月 25 日(火)	仙 台	120	116	116	102
	〃 5 月 10 日(水)	〃	110	109	109	95
東 京 ・ 関 東	〃 4 月 10 日(月)	東 京	263	245	245	191
	〃 4 月 11 日(火)	〃	249	238	238	229
	〃 4 月 18 日(火)	〃	150	142	142	122
	〃 4 月 19 日(水)	〃	200	193	193	172
	〃 7 月 4 日(火)	〃	252	246	247	219
	〃 7 月 5 日(水)	〃	156	153	153	137
	〃 7 月 18 日(火)	〃	71	69	69	61
	〃 7 月 19 日(水)	〃	62	57	57	54
	〃 8 月 1 日(火)	〃	81	78	78	72
	〃 8 月 2 日(水)	〃	64	60	61	54
	〃 9 月 13 日(水)	〃	157	151	151	144
	〃 9 月 14 日(木)	〃	81	80	80	69
	〃 10 月 19 日(木)	〃	248	234	235	214
	〃 11 月 10 日(金)	〃	328	317	317	301
	〃 12 月 7 日(木)	〃	200	195	195	163
〃 平成 30 年 1 月 18 日(木)	〃	254	248	248	231	
中 部	平成 29 年 6 月 20 日(火)	名古屋	201	195	195	161
	〃 6 月 21 日(水)	〃	127	124	124	97
	〃 7 月 24 日(月)	〃	114	113	113	102
	〃 9 月 25 日(月)	〃	144	141	141	131

近畿	平成29年 5月17日(水)	大阪	250	238	238	186
	〃 6月5日(月)	〃	160	159	159	145
	〃 8月24日(木)	〃	166	155	155	133
	〃 8月25日(金)	〃	58	55	55	50
	〃 10月11日(水)	〃	132	127	127	118
	〃 11月27日(月)	〃	292	280	280	254
中国	〃 5月24日(水)	広島	131	126	126	104
	〃 5月31日(水)	〃	75	74	74	62
四国	〃 9月5日(火)	高松	64	61	61	57
九州	〃 6月12日(月)	福岡	155	154	154	138
	〃 6月28日(水)	〃	374	359	359	335
	平成30年 2月22日(木)	〃	280	275	275	264
計		30回	6,066	5,860	5,863	5,243

※11月10日東京、27日大阪会場は全日遊連組合員ホール専用開催

(2) 更新時講習及び試験の実施状況

地区	開催日	場所	申込者	受講者	受験者	合格者
北海道	平成29年 7月13日(木)	札幌	124	120	120	118
	〃 8月31日(木)	〃	35	35	35	35
東北	〃 4月26日(水)	仙台	162	159	159	157
	〃 5月11日(木)	〃	34	34	34	34
東京・関東	〃 4月5日(水)	東京	148	147	147	139
	〃 4月6日(木)	〃	109	107	107	106
	〃 4月20日(木)	〃	156	153	153	153
	〃 7月6日(木)	〃	228	223	223	222
	〃 8月3日(木)	〃	94	92	92	91
	〃 9月15日(金)	〃	137	130	130	127
	〃 10月20日(金)	〃	94	94	94	94

東京 ・ 関東	平成29年12月8日(金)	東京	138	135	135	135
	平成30年1月19日(金)	〃	249	239	239	235
中部	平成29年7月25日(火)	名古屋	228	226	226	222
	〃 9月26日(火)	〃	91	91	91	90
近畿	〃 5月18日(木)	大阪	200	198	198	194
	〃 6月6日(火)	〃	143	142	142	132
	〃 10月12日(木)	〃	124	124	124	124
中国	〃 5月25日(木)	広島	208	202	202	196
四国	〃 9月6日(水)	高松	24	24	24	24
九州	〃 6月13日(火)	福岡	168	163	163	161
	〃 6月29日(木)	〃	131	126	126	125
	平成30年2月23日(金)	〃	186	182	182	179
計		18回	3,211	3,146	3,146	3,093

(3)平成30年3月31日現在遊技機取扱主任者数

団体	全商協	回胴遊商	日工組	日電協	ホール	その他	合計
合格者数	6,076	5,659	1,286	648	10,384	2,452	26,505

4 店長・管理職能力開発講習及び試験の実施状況

平成6年度から店長及び店長候補者（以下「店長等」という。）の資質と技術の向上を図るため、店長等能力開発講座（逐次改訂）を刊行するとともに店長等講習・試験を実施している。

平成11年度から店長等試験合格者で、所定の講習を受け、試験に合格した者に対して、遊技機管理責任者証（有効期限3年）を交付することとしていたが、平成16年7月1日から改正検定規則等の施行に伴い、この制度を発展的に解消して、遊技機取扱主任者へ移行することとした。平成23年には内容を大幅に改訂して「管理能力開発講座」を刊行するとともに、平成24年度より「店長・管理職能力開発講座」として、業界の管理職に幅広く対応出来るように努めている。

(1) 店長・管理職能力開発講習及び試験の実施状況

場所	開催年月日	申込者	受講者	受験者	合格者
東京	平成29年7月26日(水)	31	31	31	28
福岡	〃 8月3日(木)	16	16	16	12
東京	〃 11月7日(火)	23	22	22	17

東京	平成30年2月15日(木)	16	15	15	12
合計		86	84	84	71

(2) 店長等試験合格証取得者

平成30年3月末現在	5,378名
------------	--------

5 ボランティア派遣隊

(1) 共生の森

日遊協設立20周年事業として始まった埼玉県嵐山町における里山づくり「日遊協共生の森」は、平成29年度で10年を迎え、嵐山町との協定の最終年度となった。7月28日～29日に子ども自然塾の開催、3月16日に活動終了式として林内清掃等を行って10年間の活動を終えた。日遊協共生の森は、東日本大震災復興支援活動として、平成25年度から「みどりのきずな再生プロジェクト」に基づく海岸防災林の再生活動への参画という形で継承し、クロマツ等の植栽をボランティア派遣隊等により行っている。平成29年度は、社会貢献・環境対策委員会と各支部ボランティア隊79名により、宮城県仙台市若林区荒浜に1,600本のクロマツを植栽した。5年間で累計9,217本の植栽を行っている。

(2) 日遊協皇居勤労奉仕団

皇居勤労奉仕活動として、皇居及び赤坂御用地での奉仕活動へ参画している。平成29年度は、9月26日から4日間の日程で、日遊協相談役である内ヶ島団長以下48名が参加した。皇居勤労奉仕活動は、平成22年から9回実施しのべ304名を派遣している。

(3) 9.9CLEANDAY（地域大清掃の日）

「パチンコが日本をキレイにします。まずは九州から」をテーマに、九州支部を中心として9月9日に清掃活動を業界に呼びかける全国クリーンデイ活動を行っている。第5回となる平成29年度は1都24県380箇所の事業所2054人が参加した。

(4) 各支部ボランティア活動

支部	年月日	場 所	内 容	参加人員
北海道	29.10.13	札幌市すすきの地区	北海道遊技産業合同「すすきのごみ拾いボランティア活動」	330人（うち日遊協会員36人）
東北	29.4.20 ～2日間	仙台市若林区荒浜	共生の森 海岸防災林植林作業	東北支部ボランティア隊員18名
〃	29.6.8	秋田市「リンデンbaumいずみ」	老人ホームに対するパチンコ台寄贈	東北支部ボランティア隊員8名
〃	29.7.6	岩手郡雫石町「養護老人ホーム松壽荘」	老人ホームに対するパチンコ台寄贈	東北支部ボランティア隊員6名

東北	29.10.16	福島県いわき市「工房・阿列布」	障害福祉施設に対するパチンコ台寄贈	東北支部ボランティア隊員18名
〃	29.12.23	児童養護施設ラ・サール・ホーム	養護施設に対するクリスマスボランティア活動	東北支部ボランティア隊員等22名
〃	30.3.3	宮城郡七ヶ浜町「生涯学習センター」	被災地の子どもを中心に応援イベントを実施し、社会交流、意見交換を図る。	東北支部ボランティア隊22名
東京都・関東	29.7.28 ～2日間	埼玉県嵐山町日遊協共生の森	日遊協共生の森子ども自然塾	東京都・関東支部ボランティア隊58名
〃	29.9.26 ～4日間	皇居及び赤坂御用地内	日遊協皇居勤労奉仕団	東京都・関東支部ボランティア隊23名
〃	30.3.16	埼玉県嵐山町日遊協共生の森	日遊協共生の森活動終了式	東京都・関東支部ボランティア隊28名
中部	29.7.28	タイホウ中川中野橋東店駐車場	子どもの車内放置撲滅キャンペーン	支部長以下17名
〃	29.8.10	タイホウ楠店駐車場	子どもの車内放置撲滅キャンペーン	支部長以下18名
〃	29.9.26 ～4日間	皇居及び赤坂御用地内	日遊協皇居勤労奉仕団	内ヶ島団長以下10名
中国・四国	29.7.27	広島市内	8月6日原爆の日を迎えるに当たり広島平和記念公園一斉清掃へ参加	10人
〃	29.8.1	福岡県内	九州北部豪雨災害ボランティア活動の実施（九州支部と合同）	4人
〃	29.8.6	岡山市内	岡山市花火大会後の清掃ボランティア活動への参加	35人
〃	29.9.26	広島県内	敬老の日シニアパチンコ大会の開催、営業所地域内の敬老会等70名を招待し地域交流を図った	15名
九州	29.7.26	福岡県朝倉市	九州北部豪雨災害ボランティア一般家庭の汚泥除去、家財搬出	九州支部11名
〃	29.8.1	福岡県朝倉市	九州北部豪雨災害ボランティア一般家庭の汚泥除去、家財搬出	中国支部4名 九州支部5名
〃	29.8.2	福岡県朝倉市	九州北部豪雨災害ボランティア一般家庭の汚泥・靱殻除去、土嚢積	中国支部4名 九州支部11名
〃	29.8.10	福岡県朝倉市	九州北部豪雨災害ボランティア一般家庭の泥出・床下清掃、土嚢積	九州支部11名
〃	29.8.23	福岡県朝倉市	九州北部豪雨災害ボランティア一般家庭の汚泥除去、土嚢積	九州支部5名
〃	29.8.24	福岡県朝倉市	九州北部豪雨災害ボランティア一般家庭の汚泥除去、土嚢積	九州支部17名

九州	29. 8. 30	福岡県朝倉市	九州北部豪雨災害ボランティア 一般家庭の汚泥除去	九州支部 16名
〃	29. 8. 31	福岡県朝倉市	九州北部豪雨災害ボランティア 一般家庭の擁壁工事	九州支部 12名
〃	29. 9. 21	福岡県朝倉市	九州北部豪雨災害ボランティア 一般家庭・ブドウ園の汚泥除去	九州支部 24名
〃	29. 9. 28	福岡県朝倉市	九州北部豪雨災害ボランティア 一般家庭排水工事、ブドウ園の汚泥 除去	九州支部 22名

6 広報担当者フォーラム

広報担当者フォーラムは、社会の業界理解を促進するため、日遊協会員企業広報担当者の意識や知識レベルの底上げを行う手助けとして、広報の基本や他業種の事例の学びと、広報担当者同士のネットワークづくりの場を提供することを目的に、第1回を平成30年2月21日(水)、アットビジネスセンター東京駅八重洲通りにて開催した。内容は、長野県農協中央会、ポーラ化粧品本舗、劇団四季の各広報、公益財団法人JKA（競輪）参与を歴任された、(株)浅利演出事務所 飛田紀久子氏による講演、日遊協ホームページにある業界データベースの使用方法などの説明、①企業のイメージアップ・ブランディング、②CSRとその広報について、③SNSの運用と活用方法について、をテーマにしたグループディスカッション、終了後に別会場にて懇親会を実施。日遊協会員企業の広報担当者および広報業務従事者25社37名が参加した。

7 女性活躍推進フォーラム

女性活躍推進フォーラムは、業界内の女性の活躍を推進するため、各社に女性活躍の関心をもち課題を発見してもらうこと、女性のキャリア支援の後押しとして具体的な参加メリットを享受してもらうことを目的に、平成27年度から実施しており、平成29年度は昨年度同様に東京と九州の2会場で開催した。東京会場は日本橋三洋グループビルにて、平成29年5月26日、7月14日、10月13日、平成30年1月26日の計4回、女性正規社員18名が参加した。九州会場は福岡県遊技会館にて、6月15日、9月14日、12月14日の計3回、女性正規社員19名が参加した。両会場とも、4～5名でグループ分けを行い「キャリアプランニング」または「ワーク・ライフ・バランス」をテーマとして、自社に提案できる企画の討議が行われた。最終回には各グループの企画内容をプレゼンする大会が行われ、最優秀賞が選ばれた。また、キャリア支援の後押しとして、ロジカルシンキング、レジリエンス、人材育成術、印象度アップに関するセミナーが行われた。

また、女性活躍推進フォーラムのホームページを開設し、プレゼンの企画などフォーラムの内容を公開した。



女性活躍推進
フォーラム HP

8 人材育成フォーラム

人材育成フォーラムは、会員企業の人材育成の一助として、他企業の取組みや人材育成担当者の視点・考え方などを共有し、今後の業界を担う人材育成に必要な施策、方向性を共に考えることを目的に平成23年から実施している。第14回を平成29年11月22日(水)に日本橋三洋グループビルにて、メインテーマを働き方改革、サブテーマを評価制度の共有として開催した。内容は、㈱ネオキャリアが人材定着率アップに向けた人事データの活用方法、サイボウズ(株)がサイボウズ式働き方改革としてそれぞれ講演、合間に自社の評価制度が分かる資料を持参してのグループディスカッション、終了後に会場を移動して懇親会を実施。日遊協会員企業の人事担当者14社19名が参加した。

9 広報誌(NICHYOUKYO)(月刊)の発行及び配布状況

配布先	部数	配布先	部数
日遊協会員	1263	全国マスコミ	179
日遊協会員店	272	業界誌(紙)	33
全日遊連	51	執筆者	31
業界団体	64	国会議員	21
警察本部等	80	関係者	315
警察署	1123	合計	3432

(平成30年3月31日現在)

10 遊技機リサイクル推進委員会等

(1) 遊技機リサイクル推進委員会

平成9年6月に業界団体で設置した検討委員会を、資源有効利用促進法の施行(平成13年4月1日)に伴い、平成13年4月から「遊技機リサイクル推進委員会」に改称して、遊技機リサイクル(以下「リサイクル」という。)に関する具体的な方策を検討している。この委員会は、業界団体(日遊協、全日遊連、日工組、日電協、全商協、回胴遊商、愛材協)及びメーカー企業(日工組7社、日電協5社)で構成し、概ね隔月に1回、日工組会議室で開催している。平成28年度は、遊技機のリサイクル基準について協議し、平成29年4月1日に関係規定集の改訂を実施し、使用済み遊技機の管理及び解体処理に関するガイドラインを新たに制定した。

(2) 日工組・使用済み遊技機回収システムについて

日工組が中心となり、使用済み遊技機を効率よく回収し、リサイクルを促進するシステムとして15年8月に構築し、同センターは平成18年3月埼玉県蓮田市から騎西町に移転、最新設備の工場を設置し、九州交換センターは、平成17年7月から西日本の拠点として業務を行っている。また、平成21年12月に環境省より、広域認定を取得し、新しい遊技機回収システムの運用を平成22年4月より開始し、再生処理会社に3社を加えた。平成28年度(平成28年4月～平成29年3月)の回収実績は、1,843,934台であった。

(3) 遊技機リサイクル選定業者の審査

遊技機リサイクル業者選定関係規定に基づき、書面審査のほか6団体による申請者(社)の実態調査(現地視察)を行い、リサイクル選定業者を選定している。

平成29年度の選定申請は1社あり、平成29年度3月末でのリサイクル選定業者は36社となった。

1.1 セキュリティー対策委員会

セキュリティー対策委員会は、業界7団体で構成し、毎回、PSIOの入力状況、セーフティーネットの相談窓口寄せられた相談内容、不正対策室会議の内容等の報告を行うとともに、業界におけるセキュリティー問題全般について検討を重ねている。平成29年度は、前年度に引き続き置引き対策についても協議し、計6回開催した。

また、平成19年度に関係団体で締結した「いわゆるゴト行為等への迅速な対策を講じるためのガイドライン」については、平成25年度、遊技機からの発火等の客の安全に重大な影響を及ぼす可能性がある事案に対応するため、同ガイドラインの追加補正を行っている。同ガイドラインは毎年、同意書の更新を行っており、平成29年度は、8団体と製造業者12社がガイドラインを締結した。

1.2 依存問題PT

依存問題PTは、依存(のめり込み)問題に対する社会的指摘が一層、高まるなかで、同問題に対する取り組みを遊技産業の社会的責任と捉えて、パチンコ店における依存(のめり込み)問題対応ガイドラインおよび同運用マニュアルの策定等に取り組んできた。

平成29年3月、ギャンブル等依存症対策推進関係閣僚会議において、「ギャンブル等依存症対策の強化に関する論点整理」が決定され、「管理者の業務として依存症対策を義務付け」「本人・家族申告によるアクセス制限の仕組みの拡充・普及」「営業所における更なる依存症対策」などが掲げられた。これらを受けて平成29年度、依存問題PTは、平成27年10月から運用開始の自己申告プログラムの改善・強化策を鋭意、協議し、「自己申告プログラムおよび家族申告プログラム導入マニュアル」(案)を作成した。同(案)は、パチンコ・パチスロ産業21世紀会で承認され、平成29年12月1日、同マニュアルの運用を開始した。

また、平成30年3月、自己申告・家族申告プログラム導入全店2075店(2月末現在)に対してお客様申込数調査を実施した。平成27年策定の依存問題対応ガイドラインおよび同運用マニュアルの第2版の策定作業にも取り組んだ。

1.3 防犯対策勉強会

ホールの置引き被害等の減少に向け具体的方策を検討するため、ホール会員で防犯対策勉強会を設置し、平成29年7月31日、第1回会合を開催した。置引き事案は繁華街ホールに集中していることから、首都圏の繁華街立地のホール会員5社でメンバー構成した。①置引き事案報告書の共通フォーマット化、②事案ごとに分類し対策を検討、③各社のICカード盗難防止シ

システムの検討、④犯罪事例の情報共有などに取り組んだ。平成30年度は報告書をまとめる予定。

1.4 一般社団法人遊技産業健全化推進機構

平成17年2月から不正防止対策の推進を柱として、遊技産業健全化推進機構（以下「機構」という。）の設立を目指して、21世紀会構成団体を中心に協議を重ね、12団体により平成18年8月8日に有限責任中間法人遊技健全化推進機構を設立した。平成20年12月に一般社団法人に法人格変更。役員は、代表理事以下10人で、第3者による理事6人、業界団体の理事4人で構成されている。

平成29年度の1年間の検査活動について、全国51都府県方面、2,375ホールへの立入を行い、ぱちんこ遊技機7,697台、回胴式遊技機8,210台、玉計数機289台、メダル計数機48台の検査を実施している。誓約書提出ホール数は10,529店舗（組合員9,800ホール、非組合員729ホール）となっている。

1.5 関係団体連絡会議

平成29年度は業界関係の各レベルでの会議が多数開催された。

(1) 21世紀会

平成27年1月にはパチンコ・パチスロ21世紀会による「安心娯楽宣言」を発表しホームページ等による対外的なPRを開始。平成28年1月には、14団体による遊技業界における健全化推進に関する声明を決議。平成29年1月には、パチンコ・パチスロ依存（のめり込み）問題に対する声明を決議し、賀詞交換の席上にて発表した。平成30年1月は、引き続き依存問題対策を積極的に推進すべく21世紀会代表者による決意表明が行われた。

(2) 6団体代表者会議

21世紀会の幹事団体である全日遊連、日工組、日電協、全商協、回胴遊商、日遊協の6団体会議を開催し、業界の緊急課題や自主規制等について検討を行っている。

(3) 遊技機流通制度連絡会

平成28年2月1日に制定された遊技機製造業者の業務委託に関する規程等を円滑に運用するため、6団体および遊運協の7団体により定期開催され、新流通規定の運用上の問題や課題を共有している。

(4) 依存問題対策推進会議

業界6団体による依存問題対策推進会議は、平成29年2月9日に初会合を開催。6団体代表者および役員を構成メンバーとし、21世紀会の構成団体がオブザーバーとして参加している。平成29年度は、リカバリーサポート・ネットワーク(RSN)への出向社員派遣、RSN相談時間の午後10時までの延長、安心パチンコ・パチスロアドバイザー制度の新設、全商協のRSN支援室の沖縄本部への統合などについて協議し承認した。

16 遊技産業新経営者会議

遊技産業の次世代を担う30代、40代の若手経営者、経営候補者が一堂に会して研鑽を深める遊技産業新経営者会議を平成25年8月27日に発足した。平成29年度は、全3回開催し、業界内の講師だけでなく、異業種の経営者からも学ぶべく外部講師を招聘し勉強会を実施している。

(1) 勉強会の講師と講演テーマ（敬称略）

回	日程	講師	テーマ
第15回	29. 5. 25 (韓国)	パラダイスセガサミー 日本市場企画運営室長 青山茂樹 様	パラダイスシティプロジェクトの概要と韓国カジノの現状
第16回	29. 6. 30	(株)NTTデータ ITサービス・イベント事業本部ソーシャルビジネス推進室課長 尾崎哲夫 様 以下3名	ITを活用したこれからの経営戦略
第17回	29. 12. 11	サミー(株) 会長 里見治 様	新経営者各位に向けてのメッセージ

17 超パチンコ&パチスロフェスティバル@ニコニコ超会議

平成22年より、パチンコ・パチスロ遊技や遊技業界の取組みを業界内外にPRすることを目的に遊技機の展示・試打を中心とするイベントを開催している。平成29年4月29日、30日に幕張メッセにて行われたニコニコ超会議2017内に超パチンコ&パチスロフェスティバル2017ブースを出展した。今年の特徴として、メインターゲットであるノンユーザーへの産業PRのため、ブースではステージコーナーをメインに据え、全体の2/3程のスペースを使用して220インチの大型スクリーン、ステージと観覧席を配置した。また、ステージの様子は公式のニコニコ生放送で中継し、メディアへの露出、SNSへの発信等を強化し視聴者数の増加に注力した。また、試打コーナーは日工組presentsとして、ちょいパチのみを設置、ICカードを使用しホールでの一連の流れ（玉貸し・計数・POSでの持ち玉確認）を再現した。ブースには2日間で9,947名の来場、生放送は62,233名の視聴があった。平成29年度は6回目の開催となる。

18 ファンアンケート調査、パチスロユーザー調査

今後の業界発展に資することを目的に、パチンコ・パチスロファンの特長、プレー実態、ニーズ等とその動向変化を把握するための定点観測調査として2007年より実施している。全国の日遊協加盟企業、九遊連青年部協力による加盟ホールの来店客へ、ホールスタッフによる聞き取り調査を行っている。2017年は27社140ホールから2,314名の調査を行った。また、日工組と日電協の協力の下、インターネット調査を利用したパチスロユーザー調査も行い、未経験者、休止ユーザーも含む1,560名の分析も行った。

19 台湾・嘉南薬理大学との共同研究

社会貢献・環境対策委員会が中心となって、平成29年10月から日遊協と台湾台南市嘉南薬理大学、樹河社会福祉基金会の3団体により、パチンコ・パチスロが認知症予防に効果があるか、台湾の高齢者施設での活用方法などを研究している。同大学と同基金会には遊技機を使って自由に調査研究をしてもらい、高齢者施設で認知症テストを実施し、老人の反応、使い方などをレポートし、研究成果は契約した3団体で共有する。